

白喉可怕!

馬萍

冬春二季，是白喉流行的時期，請父母們使兒童接受預防注射，防患未然勝於治療。

在臺灣，各種急性傳染病的流行，除了肺炎而外，就白喉最嚴重了。近來各地報紙上，不時出現這種疾病的可怕報導，真弄得一般父母們六神無主!

小孩子容易得白喉!

白喉的病原是一種桿狀的細菌，它附着在灰塵或其他物件上，可以活幾個月之久，它藉空氣的散佈而傳染，寄生在人體鼻腔和咽喉表層的粘膜上繁殖，經常從病人鼻腔或唾裏的分泌物(鼻涕、痰和唾液)中，跟着咳嗽、吐痰、飲食或談話等動作，散佈到空氣中。

白喉桿菌既很容易在空氣中播散開，任何人皆可能在不知不覺中受到傳染，不過假使你身體好，而且過去已經遭遇過此種細菌的侵襲，身體中自然會發生一種抵抗它危害的力量，所以再有白喉桿菌侵入身體時，你就不會得到白喉。因此，健康人的鼻咽部粘膜，可能都有它的生存作傳染的媒介，可是不能發生什麼不舒服的症狀!但在年紀幼小的孩子們，就不同了，他們從沒有遭到這種細菌侵襲過，缺乏此種抵抗的力量，若不慎傳染上了，得病的可能性就很大了。

險症白喉!

病人開始覺得喉嚨痛，寒顫發熱，疲乏不堪，頭痛嘔吐。以後細菌在鼻咽部繁殖，刺激局部的粘膜發炎，形成灰黃色的漿膜，阻塞住呼吸道，甚至之病人口齒不潔，乾咳，甚至呼吸困難而窒息致死。同時，細菌又能分泌毒素，進入血液，損傷心臟和腎臟，並引起神經的麻痺，病人吞嚥非常困難，這些致命的徵候，都發展極快，常弄得醫生們措手不及。因此，死亡率相當可驚，從本省各處的估計，四個病人當中就有一個不能救活!

趕快打預防針!

孩子生下來到六個月，就應該注射白喉預防針(通常二次)，使孩子本身自然產生抵抗白喉細菌的力量。假使在鄰近地區聽說有人患此種病時，凡是十歲以下的兒童過去沒有注射預防針的話，就應過去沒有注射，過去已經注射過預防針的人，也必須經過一種特殊的皮膚試驗，看看他是不是有足夠抵抗細菌感染的力量，若仍然是陽性結果的話，更得趕速重新注射預防針。

冬、春二季，正是白喉流行的時期，請各位多注意當地衛生所的公告，使兒童們接受預防注射，防患於未然!

木棉類の縫ひ方

布にも種々あります，木棉類は値段が安く丈夫なので、農村の衣類として最も親しまれています。また、農村の婦人が自分で裁縫するにしても、材料の多くは木棉です。今回はその扱ひ方について、注意すべき點を述べてみます。

水浸け

木棉を使用する時に大切な事は、裁断する前に充分に水浸けをしておく事です。水浸けを上手にする方法は次の様になります。

まず、織糸の縦糸と横糸が曲つていないかを調べて、曲つていない時は、布地を両手で引つ張つて、型と糸目を正しくします。次に、水に浸けませんが、布に皺(シワ)がよらないように軽くたたんで、水の中に入れ、時々上下の位置を變へます。水浸けが終つたら、布を水から引き上げますが、その時には両手で壓して水分を取り去り、絞つてはなりません(中文の圖参照)。アイロンをかける時には、布の裏面を平均にかけます。また、アイロンを使用する時、力の入れ方が平均しないと、布の一部のみが伸びて、見苦しいものになります。

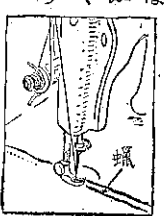
裁ち方の注意

木棉類は絹と違つ

て、滑りが悪いので、裁臺の上に置いても動揺せず、裁断がしやすい布です。型紙の標(シルシ)はヘラでつけます。チャコを木棉に使用すると、後で洗ひ落ちませんから、白布の場合には用ひないようにします。

縫ひ方の注意

ミシン針は普通に通十四番を使いますが、薄地の縮み(チヂミ)などは絹物と同様に十一番を使用します。糸はカタン糸の八十番がよく、丈夫に縫ふ時には六十番を用います。色物の糸はカタン糸に各色ありませんから、絹糸で縫ひます。然し、普通に木棉を縫ふ時にはカタン糸を使ふのを原則とし、やむを得ない時だけに絹糸を使ふようにします。また、糊気の多い布地をミシンで縫う時には、圖のように、縫目になるところ、またはミシンの針に蠟を塗りながら縫ふと、よく縫へます。



夏物のしまい方

衣類の整理

十二月になると、すっかり冬のシヤツでは寒くて衣類は早く手入して、しまひませう。すべて衣類などは常に清潔にしておき、上手にしまへば、普通より長く丈夫に使用できるものです。

清潔にしておき、上手にしまへば、普通より長く丈夫に使用できるものです。

△夏靴。帽子 白靴は、表面を石ケン水などで洗つて汚れを取り、陰干にしてから靴油をつけます。次に靴の型が變らないように、中に新聞紙を固く詰め込んで、油紙などで包み、濕氣の無い所にしまひます。

革靴類をしまふ時には、靴底の部分まで、すべて革のところに、保革油か靴油を塗つておくと、革の保護になつて長持ちします。帽子は大甲帽の場合には、表面の埃(ホコリ)をとり、汚れた個所は、食パンまたは上質の消しゴムで軽く拭きとり、それでも落ちない水を含ませ、軽く拭きとりませう。

